

事業番号

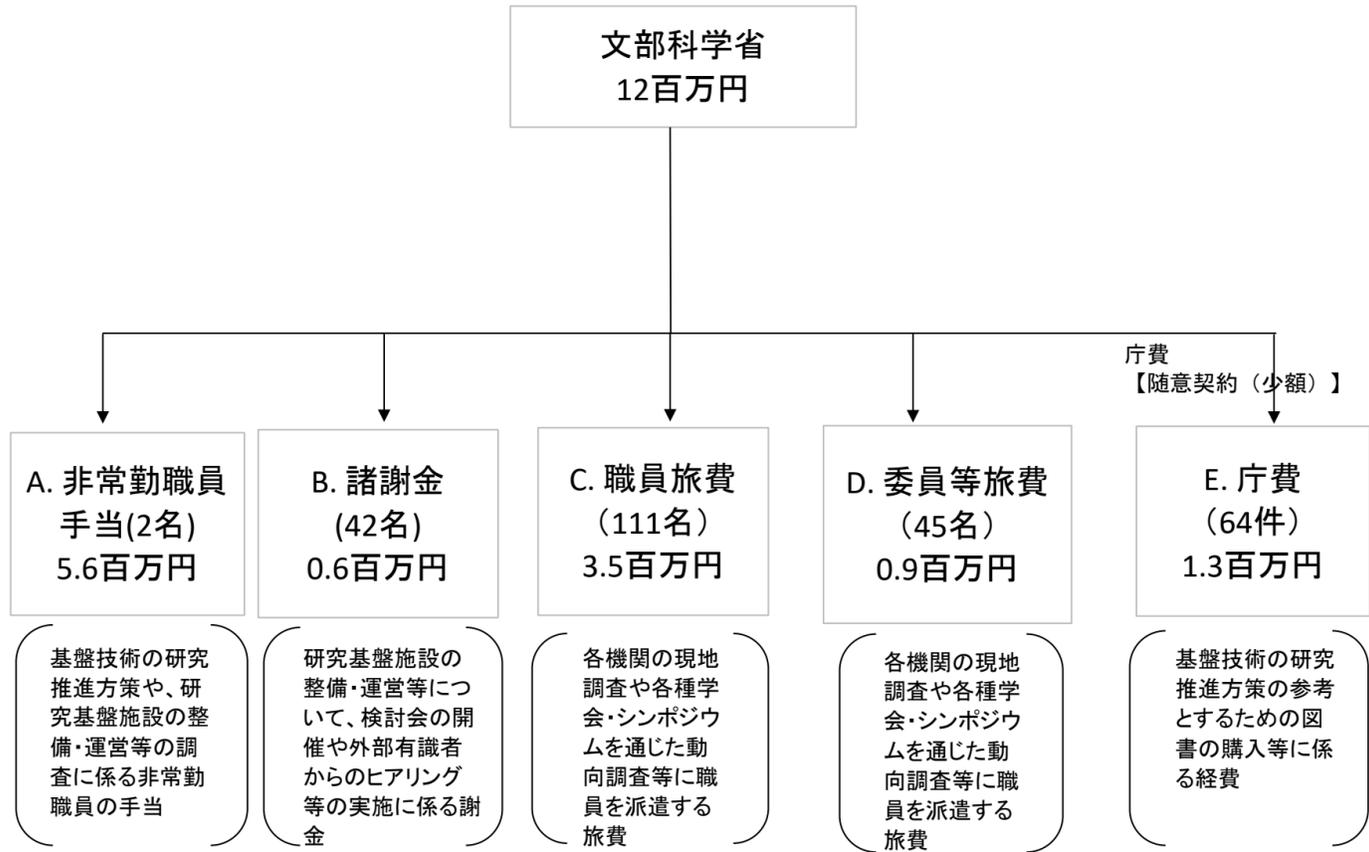
2023 - 文科 - 22 - 0263

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)											
事業名	先端基盤技術研究開発推進経費		担当部局	科学技術・学術政策局		作成責任者							
事業開始年度	平成23年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	研究環境課	研究環境課長 稲田 剛毅							
会計区分	一般会計												
根拠法令 (具体的な 条項も記載)			関係する 計画、通知等	第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月26日閣議決定) 経済財政運営と改革の基本方針2022(令和4年6月7日閣議決定) 成長戦略フォローアップ(令和3年6月18日閣議決定) 統合イノベーション戦略2022(令和4年6月3日閣議決定)									
政策	9 未来社会に向けた価値創造の取組と経済・社会的課題への対応		主要経費	科学技術振興費									
施策	9-1 未来社会を見据えた先端基盤技術の強化												
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-07.pdf												
事業の目的 (5行程度以内)	様々な分野の研究開発に活用される基盤技術に関する研究推進方策や、研究基盤の戦略的な活用・整備について、検討会や研究開発動向調査等を通じて今後の施策の検討及び推進を図る。												
現状・課題 (5行程度以内)	様々な分野の研究開発に活用される基盤技術に関する研究推進方策や、研究基盤の戦略的な活用・整備を推進するには、国内施設へのヒアリングや有識者との情報交換を行い、多様な意見を取り入れることが重要である。												
事業概要 (5行程度以内)	研究基盤の戦略的な活用・整備について、外部有識者からのヒアリング等を行うとともに、国内における各機関の現地調査や各種シンポジウムを通じた研究開発動向調査、更には国際会議等を通じた諸外国の取組等の情報収集・情報交換を行い、今後の施策の検討及び推進に資する。												
事業概要URL													
実施方法	直接実施												
補助率等													
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)	予算の 状況	当初予算(A)	令和2年度	11.9	令和3年度	11.9	令和4年度	15.9	令和5年度	16	令和6年度要求	16	
		補正予算(B)		-		-		-		-		-	
		前年度から繰越し(C)		-		-		-		-			-
		翌年度へ繰越し(D)		-		-		-		-			-
		予備費等(E)		-		-		-		-			-
		計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)		11.9		11.9		15.9		16			16
		執行額(G)		6.3		7.2		12					
執行率(%) =(G)/(F)		53%		61%		75%							
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		53%		61%		75%							
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求		主な増減理由(・要望額・予備費)							
	(項)	研究開発推進費											
	(目)	非常勤職員手当	6	6									
	(目)	職員旅費	5	5									
	(目)	庁費	3	3									
	(目)	委員等旅費	2	2									
	(目)	諸謝金	1	1									
		その他		▲0									
	計(A)	16	16										

活動内容① (アクティビティ)	研究基盤の戦略的な活用・整備について、外部有識者からのヒアリング等を行う。								
↓									
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
	研究基盤の戦略的な活用・整備についての施策の検討及び推進	基盤技術に関する研究推進方策や研究基盤の戦略的な活用・整備について、検討を行った領域数	活動実績	領域	2	2	3	-	-
当初見込み			領域	2	2	2	3	-	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	外部有識者との情報交換等を通じて得た知見をもとに、事業を検討し、実施することが重要である。							
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
	基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設・設備の整備・運営等に関する事業を実施する。	本事業により得られた知見を基に検討・推進された基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設・設備の整備・運営等に関する事業実施数(件)	成果実績	件	10	8	8	-	
			目標値	件	10	8	8	7	
達成度			%	100	100	100	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	文部科学省における集計								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業の確実な実施を通じ、研究環境課で実施する事業の円滑な推進することが重要である。							
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)	成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
	研究環境課で実施する各事業の確実な達成に資する。	研究環境課で実施する各事業の達成率の平均(%) (各事業長期アウトカムの達成率合計÷7) ※SPring-8及びSACLAの達成率は、各施設の達成率の平均を算出	成果実績	%	101.6	121.7	92.7	-	
			目標値	%	100	100	100	-	
達成度			%	101.6	121.7	92.7	-		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績	令和4年度行政事業レビューシート								
アウトカム設定について の説明	アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
	アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								

活動内容② (アクティビティ)		国内における各機関の現地調査や各種シンポジウムを通じた研究開発動向調査、更には国際会議等を通じた諸外国の取組等の情報収集・情報交換を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ② (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		研究基盤の戦略的な活用・整備についての施策の検討及び推進	各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査等に職員を派遣した数	活動実績	人・回	95	81	141	-	-
				当初見込み	人・回	123	123	123	123	-
↓		成果目標②-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		様々なシンポジウムへの参加や国内施設の現地調査を通じて得た知見をもとに、事業を検討し、実施することが重要である。								
成果目標及び成果実績 ②-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 5 年度	
		基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設・設備の整備・運営等に関する事業を実施する。	本事業により得られた知見を基に検討・推進された基盤技術の研究推進方策や研究基盤施設・設備の整備・運営等に関する事業実施数(件)	成果実績	件	10	8	8	-	
				目標値	件	10	8	8	7	
				達成度	%	100	100	100	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省における集計								
↓		成果目標②-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		本事業の確実な実施を通じ、研究環境課で実施する事業の円滑な推進することが重要である。								
成果目標及び成果実績 ②-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 5 年度	
		研究環境課で実施する各事業の確実な達成に資する。	研究環境課で実施する各事業の達成率の平均(%) (各事業長期アウトカムの達成率合計÷7) ※SPring-8及びSACLAの達成率は、各施設の達成率の平均を算出	成果実績	%	101.6	121.7	92.7	-	
				目標値	%	100	100	100	-	
				達成度	%	101.6	121.7	92.7	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		令和4年度行政事業レビューシート								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ②について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ②についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位: 百万円)

費目・用途
(「資金の流れ」において
ブロックごとに最大の金
額が支出されている者につ
いて記載する。費目と
用途の双方で実情が分
かるように記載)

A.			B.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
非常勤職員手当	基盤技術の研究推進方策や、研究基盤施設の整備・運営等の調査に係る非常勤職員の手当	3.3			
計		3.3	計		
C.			D.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
職員旅費	各機関の現地調査や各種学会・シンポジウムを通じた動向調査等に職員を派遣する旅費	0.7			
計		0.7	計		
E.			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
庁費	速記及びテープ起こし	0.3			
計		0.3	計		

費目・用途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載

チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A		基盤技術の研究推進方策や、研究基盤施設の整備・運営等の調査に係る非常勤職員の手当	3.3	随意契約(その他)	-	--	
2	個人B		基盤技術の研究推進方策や、研究基盤施設の整備・運営等の調査に係る非常勤職員の手当	2.3	随意契約(その他)	-	--	

C

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	個人A		現地調査等旅費	0.7	その他	-	--	
2	個人B		現地調査等旅費	0.4	その他	-	--	
3	個人C		現地調査等旅費	0.4	その他	-	--	
4	個人D		現地調査等旅費	0.4	その他	-	--	
5	個人E		現地調査等旅費	0.3	その他	-	--	
6	個人F		現地調査等旅費	0.2	その他	-	--	
7	個人G		現地調査等旅費	0.2	その他	-	--	
8	個人H		現地調査等旅費	0.2	その他	-	--	
9	個人I		現地調査等旅費	0.1	その他	-	--	
10	個人J		現地調査等旅費	0.1	その他	-	--	

E

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社大和速記情報センター	5010401030061	速記及びテープ起こし	0.3	随意契約(少額)	-	--	
2	仙台中央タクシー株式会社	8370001006646	ハイヤー借り上げ	0.3	随意契約(少額)	-	--	
3	独立行政法人国立印刷局	6010405003434	印刷製本費	0.1	随意契約(少額)	-	--	
4	株式会社紀伊國屋書店	4011101005131	図書	0.1	随意契約(少額)	-	--	
5	有限会社鮫玉堂	3010702003651	備品購入	0.1	随意契約(少額)	-	--	
6	東京地下鉄株式会社	4010501022810	PASMO運賃	0.1	随意契約(少額)	-	--	
7	有限会社金比羅タクシー	5480002001811	ハイヤー借り上げ	0.1	随意契約(少額)	-	--	
8	観光第一交通株式会社	5370001004454	ハイヤー借り上げ	0	随意契約(少額)	-	--	
9	株式会社政官要覧社	9010001051586	図書	0	随意契約(少額)	-	--	
10	株式会社ブルーホップ	6010001056290	印刷製本費	0	随意契約(少額)	-	--	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	